

【特集】2021年の抱負 …… P2-P3

■「いんくるウィーク」開催報告 …… P4-P5

■トピックス!! …… P6

■Samu's Voice : 理事長コラム …… P7

■「あっと!」表紙解説 …… P8

『あっと!』 日常の中で 見つけたアート

秋の遠足で見つけたどんぐりやはっぱをボンドでペタペタはったよ。
思い出またひとつふえたね。

ぶれっじを利用するこどもたちが
秋の遠足で見つけたどんぐりやはっぱをが貼ってくれました。
また、台紙に葉っぱやトンボの型紙を置いて、上から塗ってもらうと
きれいな落ち葉やトンボの形になりました。
行事を行うのが以前よりも難しくなっていますが、
季節感を感じる体験を大切にしたいと思っています。



作品制作：湘南だいち 児童発達支援センターぶれっじ

2021年の抱負

新しい年を迎えました!!
昨年は新型コロナウイルスの影響で我慢したこと・出来なかったことがあったと思います。
「今年は〇〇したい」「〇〇をするんだ」など希望に溢れた声を聞いてみました。

A
プールに行けなかった。

A
お出かけが出来なかった。

A
あまり外出できなかった。

A
よし介で行くお祭りとか参加してみたかった。

A
大きなプールに行って、浮き輪で遊びたい!

A
お買い物をして服を買いたい!!

A
みんなと外出しておもいきり遊びたい!

A
よし介のみんなと、江の島水族館とか、旅行に行きたい!



熊谷 真花さん
サービスセンター ばる星の村



野堀 康弘さん
みらい社



大沢 誠さん
湘南あおぞら



大坪 晴輝さん
よし介工芸館

A
創作の名札作りができなかった。

A
出かけられなくて、家で作業をしていました。

A
マラソン大会に参加できなかった。

A
お友達と外で会う機会が減ってしまった。イベント、バザーができなかったので、自分の作品を出せる機会がなかなか無かった。

A
アイロンビーズをやりたいです。

A
辻堂にたくさん行きたいです!!

A
マラソン大会に参加して運動がしたい。

A
自粛ムードが続くと思いますが、イベントで自分の作品や商品をいっぱい出したい。お友達にもいっぱい見てもらいたいし会いたいです。



稲垣 惣太さん
サービスセンター ばるプリズム



中野 義大さん
みらい社



友永 光治さん
湘南あおぞら



安野 よし子さん
アートスベア
さわかくさ

Q 2020年にやりたくても出来なかったことは何ですか?

Q 今年、やりたいこと、実現したいことは何ですか?

A
ガチャガチャをしに出掛けたかった。

A
いとぐるまのみんなと夏祭りが出来なかったり日帰り旅行に行けなかった。

A
大型バスに乗り旅行に行けなかった。ボウリングが出来なかった。

A
昨年はコロナで歩くことができなかった。

A
のーのー(神社やお寺)に参拝に行きたい!!

A
いとぐるまのみんなと楽しく夏祭りがしたい!!

A
茅ヶ崎サザンビーチまでのロングサイクリングにチャレンジしたい!!

A
今年には山に登りたい。



森 深幸さん
湘南セシリア



松永 百加さん
湘南だいち
いとぐるま



森山 碧人さん
湘南ゆうき村
通所



志村 紀子さん
六会いきいき
サポートセンター

A
どこにもお出掛けに行けなかった。

A
大好きなパチンコに行けなかった…。

A
イトーヨーカドーなどの近隣外出が出来なかった。

A
散歩に行く回数が減ってしまったこと。

A
温泉に行きたい!!

A
思いっきりパチンコがしたい!! 野球観戦にも行きたい!

A
イトーヨーカドーへ行きフードコートでコーヒーを飲みたい!!

A
今年には旅行にたくさんいきたい。



三瓶 照久さん
湘南セシリア



増本 健次さん
湘南だいち
いとぐるま



岩崎 友計さん
湘南ゆうき村
デイサービス



古屋 吟子さん
六会いきいき
サポートセンター



期間中、いくちゃんラッピングカーが市内を走りました。みんなで「いくちゃん」に思い思いの色をのせ、各事業所の送迎車に貼り、いんくるウィークを宣伝しました。事業所の皆さんは、自分の絵がラッピングされた送迎車を見るたび、感激されていました！



↑ 藤沢市役所分庁舎1階での様子。多くの方に来場していただき盛況な場となりました。
← 「いんくるチャレンジ」巨大いくちゃん色塗り中！！
巨大いくちゃんがお披露目がされました！➡



「いんくるウィーク」を開催しました！



今年度の「いんくるフェスティバル実行委員」が初めて意見交換をしたのは5月。紙上で意見聴取となり、今年はいんくるフェスティバルの開催は難しいかという意見が多数…。それなら、今だからこそ皆で楽しめるイベントができないかと、検討を重ね、ホームページの活用や、それぞれの事業所で取り組んだものをみんなで形にすることで、つながりを持って地域に発信ができるイベントとして開催することになりました。

期間中は、ホームページに特設サイトを設け、事業所紹介動画やいくちゃんのぬり絵などをアップ。各事業所で分担して制作した大きないくちゃんの制作風景も動画で紹介しました。また、市庁舎販売では、各事業所で制作したいくちゃんグッズを販売。たくさんの個性あふれるいくちゃんが並びました。

さて、今回の宣伝活動の一つとして、期間中、公用車にいくちゃんマグネットを貼って市内を走行していました。みなさん、ご覧いただけましたでしょうか？

「いんくるフェスティバル」イメージキャラクター「いくちゃん」海や太陽・雲・フジの花など藤沢をイメージしたキャラクターです。2019年の「いんくるオータムフェスティバル」で行われた、イメージキャラクターコンテストで、湘南だいち・神田職員の作品が最優秀賞に選ばれました。



期間限定で、藤沢育成会のホームページに「いんくるウィーク」の特設サイトが設けられました。カラフルいくちゃんと題したぬり絵や、「いくちゃんを探せ！」のお楽しみコーナーがあり、皆さんが楽しめる工夫がされていました。いんくるムービーでは、いくちゃんが各事業所を巡り、藤沢育成会の事業所を紹介しました。

→ 実践報告会

去る11月8日（日）、昨年度に続いて藤沢育成会実践報告会を開催しました。テーマは「意思決定支援～その人らしく地域生活を送るために～」です。今年度は「多摩大学湘南キャンパス」の講堂をお借りして、藤沢育成会すべての事業所計11例の実践報告を行いました。

法人外の会場で役職員約150名が参加し、発表者はいつもと違う緊張感を持ちながらの報告となりましたが、その内容から取り組みに対する真摯な姿勢が伝わってきました。

昨年度の報告会と比較して、取り組みや発表内容の質が向上したと感じると同時に、課題もまた明確にすることができましたので、来年度に向けて様々な改善するための良い機会にもなりました。

また、今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人数を制限せざるをえませんでした。今回は市民の方々も参加できる研修とし、藤沢育成会の活動を広く知っていただく機会になればと考えています。参加された皆様お疲れ様でした。

最後に、コロナ禍において快くご協力いただきました多摩大学湘南キャンパス様には、心より感謝申し上げます。



近況報告など旬な話題を提供

トピックス!!

湘南あおぞら トートバッグの販売をはじめました!!

日々のちょっとした買い物にもおすすめ!!
2ℓペットボトル3本分くらいは余裕で入ります!
価格は950円!

藤沢育成会 湘南あおぞらのご利用者、職員で協力して作った【あおぞらトートバッグ】です。

藤沢市役所分庁舎（毎週水曜日）、湘南あおぞらでも販売していますので、お見かけした際はどうぞ手に取ってみてください。

あおぞらオリジナルブランドのtwo line（ツーライン）がポイントです☆☆

ラインカラーは赤、青、緑色の3色そろっています♪♪
その日の気分や季節に合わせて使うのも良いですね!
あなたはどんなラインカラーがお好きですか。



→ 第25回湘南ゆうき村収穫祭を行いました!!

11月21日（土）に毎年恒例の湘南ゆうき村収穫祭を開催しました。

今年ゆうき村25周年目という記念すべき年になりましたが、コロナ感染防止の為、湘南ゆうき村のご利用者・スタッフのみで三密に気を付けながら縮小したお祭りになりました。午前午後の2部制とし、消毒を徹底しながら開催いたしました。こじんまりとした収穫祭となりましたが、ご利用者が楽しんでいる様子があり節目の年に開催が出来てよかったです。



芋ほり体験で収穫しました



人数少ない中でも楽しめました



抽選会も間をあけて並びました

Samu's Voice 23

社会福祉法人藤沢育成会 理事長 石川 修



初夢

新型コロナウイルスの猛威が治まらないまま新年を向かえた。「新しい生活様式」にはなじめないものもあるが、感染しないための努力が続く。手洗いの励行や消毒の徹底、換気など終息後も続けたいものだが、思わぬ効果をもたらしたのも続けたい。なかでも「だいち」が取り組んだ通勤服からの着替え。浮遊するコロナウイルスは通勤着にも付着するので感染予防の新たな生活様式だが、これが大切なことを気づかせてくれた。着替えで職員が「働くモード」に切り替えやすくなった。支援は日常を支えるのだから利用者の日常に入り込む。だからモード切り替えが出来ないと職員自身の

日常を引きずり、どちらの日常なのか判らなくなり易い。それは利用者の日常≒自分の日常となり、自己決定支援ではなく職員決定支援になり易い。これを「（利用者の）日常から（職員の仕事）非日常にワープする!」と考えた。そこが「（利用者の）日常と（仕事という）非日常のあいまいな境界」である。昨年、実践報告会のテーマが「意思決定支援」。通勤着から仕事着に替えることで仕事モードにする＝襟を正す支援への第一歩である。新たな生活様式が支援の質を向上させる…と夢を見た。

後援会「いずみ」の運営について

前号にて「あらためて後援会いずみをご案内いたします」というタイトルで目的と役割をお伝えしました。今回は運営についてご案内いたします。

後援会「いずみ」の運営

藤沢育成会の事業に賛同していただける一般市民による個人会員、企業・団体からなる団体会員、そして藤沢育成会を利用する家族会員によって構成されています。毎年、後援会「いずみ」の総会（全体代表者会）を経て、会員から選出された役員が企画運営しています。役員は全体役員と常任役員で構成され、後援会事業の実務は、常任役員が当たっています。2019年度は「アフタヌーンティコンサート、社会福祉法人 富岳会を招き藤沢育成会チャリティーコンサート「新春富岳太鼓の響」を主催し、多くの方からご好評いただいております。



社会福祉法人藤沢育成会 後援会いずみ 入会のご案内

後援会「いずみ」は、藤沢育成会が進める福祉事業を支援するとともに、藤沢育成会を利用する人と地域の人を結ぶ懸け橋になり、障がいのある人の地域の暮らしや社会参加の実現に向けて、誰もが自分らしく生き生きと暮らすことのできる豊かなまちづくりを目指しています。

多くの皆様にご入会いただき、支援の輪を広げていきたいと考えております。皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

- 個人会員 年額2,000円から
藤沢育成会の活動に賛同する
一般の市民の方 及び 利用者家族
- 団体会員 年額10,000円から
藤沢育成会の活動に賛同する企業・団体

振込先（郵便局）

口座番号 00240-5-65378

口座名義 社会福祉法人藤沢育成会後援会いずみ会長西條節子

問合せ先 0466-28-1488（法人本部事務局 担当：佐藤和美）